

平成28年度 高校2年生 英語表現Ⅱ【日大文系】年間指導計画表

教科目(単位数)	高校2年 英語表現Ⅱ(4単位)
年間目標	・英語検定準2級合格率70% ・日大チャレンジ模試標準化得点平均53以上
使用教科書	UNICORN English Expression 2 (文英堂)
使用補助教材	INSPIRE 28units (文英堂)、大学入試 頻出語彙・語法問題550 実戦力ビルダー(標準編)、CLOVER 英文法・語法 ランダム演習(入試標準)

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	10章	■助動詞(3) □ need/ dare □ had better □ 助動詞+have+過去分詞	
		20章	■比較(1) □ 原級を用いた比較表現 □ 比較級を用いた比較表現	
		21章	□ 最上級を用いた比較表現	
		22章	■比較(2) □ 原級↔比較級↔最上級 □ 原級を用いた重要表現	
		12章	■比較(3) □ 比較級を用いた重要表現 □ 最上級を用いた重要表現	
	後 半	17章	■受動態(2) □ 否定文・疑問文の受動態 □ 受動態と文型	・文法事項を理解する ・文法事項を用いて、問題演習を行う ・文法事項を用いて、英語で表現をする
		19章	□ 群動詞の受動態 ■Further Study1 注意すべき受動態 □ 動作を表す受動態と状態を表す受動態 □ 受動態が好まれる場合 □ 注意が必要な受動態 ■Further Study9 各種構文(1) □ いろいろな否定表現 □ 強調・倒置	
			■動名詞 □ 動名詞の用法 □ 動名詞の意味上の主語	
2 学 期	前 半		□ 動名詞のいろいろな形(「時」の表し方/受動態/否定形) ■Further Study2 動名詞と不定詞など □ 動名詞を目的語にする動詞／不定詞を目的語にする動詞 □ 目的語が動名詞と不定詞で意味が異なる動詞 □ 動名詞を含む慣用表現 ■Further Study10 各種構文(2) □ 省略・挿入・同格 □ 名詞表現・無生物主語	
			■分詞(2) □ 分詞構文 □ 分詞構文の受動態、否定形、完了形 □ 主語のある分詞構文[独立分詞構文] ■Further Study3 分詞を含む表現 □ There + V + S + 分詞 □ 分詞を含む慣用表現 □ <with + (代)名詞 + 分詞>の構文 ■Further Study7 時制の一致と話法 □ 時制の一致 □ 時制の一致の例外 □ 話法の種類 ■Further Study8 注意すべき話法 □ 平叙文を伝える □ 疑問文を伝える □ 命令文を伝える □ 感嘆文や複雑な文を伝える	・文法事項を理解する ・文法事項を用いて、問題演習を行う ・文法事項を用いて、英語で表現をする
	後 半	LESSON 1 LESSON 2 LESSON 3 (p2~p13)	■ランダム形式での文法問題演習 ■テーマ毎の自由英作文	・文法事項を理解する ・文法事項を用いて、問題演習を行う ・文法事項を用いて、英語で表現をする
		LESSON 4 LESSON 5 LESSON 6 (p14~p25)	■ランダム形式での文法問題演習 ■テーマ毎の自由英作文	・文法事項を理解する ・文法事項を用いて、問題演習を行う ・文法事項を用いて、英語で表現をする
3 学 期	LESSON 7 LESSON 8 LESSON 9 (p26~p37)	■ランダム形式での文法問題演習 ■テーマ毎の自由英作文	・文法事項を理解する ・文法事項を用いて、問題演習を行う ・文法事項を用いて、英語で表現をする	

評価方法	・定期テスト ・小テスト ・提出物
学習方法	1学期は「INSPIRE28units」、2学期以降は「CLOVER」を中心に授業を進め、文法の運用能力を伸ばす。コミュニケーション英語Ⅱで学習した文法事項を演習を通して習熟させ、宿題での繰り返し学習により定着させる。
注意事項	・コミュニケーション英語と英語表現の学習内容をリンクさせるようにする。
インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	演習プリントを用意し、授業で習ったことの復習・定着をはかる。